

中高生の居場所づくり

取組の背景・目的

台東区の児童館では、平成 16 年度から台東区内 8 児童館のうち、2 つの児童館で開館時間を延長し、午後 6 時から 7 時までの時間を中高生が専有して過ごすことができる「中高生タイム」を実施している。

中高生世代にも家庭や学校以外に安全で自分らしく過ごせる「第 3 の居場所」の存在は非常に重要である。そのため、「中高生タイム」実施児童館以外でも中高生世代の居場所づくりの取組を行っている。令和 6 年度の台東区立玉姫児童館では小学校高学年から中学生の利用者が増加していることから、中高生用スペースの整備を行っている。また、中高生世代の利用者に対する活動として、「しゃべり場 in 玉児」を定期的の実施している。

取組の概要

○中高生用スペースの整備

- ・中高生がのんびりおしゃべりをしたり、学習に取り組みやすいようにした。
- ・学習に役立つ辞典や受験に関する書籍、中高生向けの漫画、ギターなどの楽器も揃えている。



○中高生向け企画「しゃべり場 in 玉児」

【対象】中学生・高校生

【実施日・実施時間】

実施日：令和 6 年 6 月 15 日（土）、9 月 28 日（土）、12 月 21 日（土）

時 間：午後 5 時～6 時

【実施場所】

遊戯室 ※実施日の参加人数ややりたいことによって参加者が場所を決める。

【活動内容】

- ・飲み物を飲みながら、テーマは設けずフリートークをする。
- ・中高生が児童館でやってみたいことや、過ごし方について意見を聞き取り、実現に向けて話し合う。

【職員体制】進行 1 名、記録 1 名 計 2 名



工夫点・留意点

中高生用スペースには、のんびりおしゃべりやボードゲームなどで遊べるスペースに加え、集中して学習に取り組めるよう個人用の学習机も設置している。また、利用者から希望を聞き取り、学習に関する本の整備や受験に関する参考書を随時更新している。

「しゃべり場 in 玉児」では、参加者がリラックスして「素の自分」を出せるよう事前にリクエストがあった飲み物を用意し、テーマを設けず自分たちのペースで自由に話す時間を大切にしている。また、参加者から出た児童館に関わるキーワードや児童館を利用する理由、児童館でやってみたいことなどを聞き取るようにした。2回目以降は、カラオケやバスケットボールなど、やってみたいことの中から主体的な活動を行った。

取組の効果

令和6年4月から中高生用スペースの整備に取り組んだことで、進学・進級直後の中高生の新たな居場所として提供することができた。「テスト勉強をしに来た」と中高生用スペースの利用を目的に来館したり、「部活動までの空き時間に遊びに来た」、「振替休日だから」と複数人で遊びに来る利用者もあり、安心して過ごすことができる場所として定着してきている。

「しゃべり場 in 玉児」の企画がきっかけとなり、8月に実施した「児童館まつり」にて中学生がラジオDJコーナーを行った。部活動で忙しい中、時間を調整して来館し、事前準備から当日の流れを自分で考えて実行した。児童館としては、日常での関わりや「しゃべり場 in 玉児」の企画を通して、主体的な活動の実現や活躍の機会を提供することができた。



課題・今後の展開

今後も中高生のニーズを的確に把握して過ごしやすい環境を整えていく。また、学校や関係機関と連携し、児童館での取組みを広く周知していくことで、児童館が中高生の居場所としての役割を果たせるよう努めていく。

中高生の利用は増えているが、部活動や習い事などもあり小学生に比べて日常的な利用にはつながっていない現状がある。そのため、主体的な活動の展開や継続に課題はあるが、来館した際に職員が声をしっかり拾っていくことや「しゃべり場 in 玉児」などの中高生向け企画を定着・発展させることで、やってみたいことの実現や活躍の場をさらに広げていきたい。